



DAWN OF  
MODERN  
KAMAKURA

明治150周年記念  
古写真展

げき どう  
**激動**  
の  
かま くら  
**鎌倉**

2018.9.15 Sat → 12.15 Sat

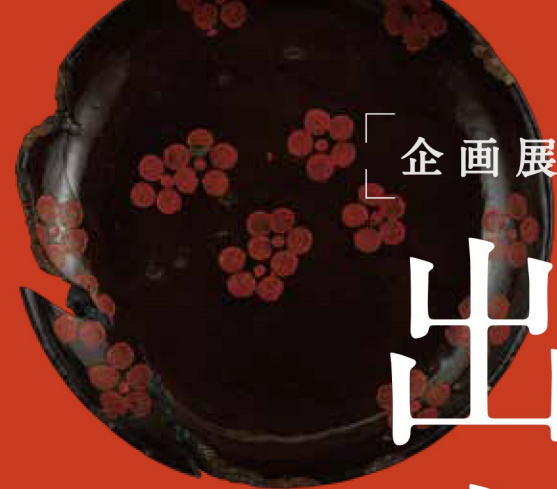
開館時間／午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)  
休館日／日曜・祝日  
観覧料／一般 300 [210]円 小・中学生 100 [70]円\*  
主催／鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)  
住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1  
電話／0467-73-8501

\*「」内は20名以上団体料金  
\*本料金で本館平常展示および企画展「出土漆器の美」もご覧いただけます。  
\*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と  
付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

[www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html](http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html)

鎌倉八幡宮

Beauty of  
Excavated  
Lacquerware.



企画展  
**出土漆器の美**

赤と黒の織り成す世界。



2018

9

15  
sat

12

15  
sat

※「」内は20名以上団体料金  
\*本料金で本館平常展示および古写真展「激動の鎌倉」もご覧いただけます。  
\*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と  
付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

開館時間／午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)  
休館日／日曜・祝日  
観覧料／一般 300 [210]円 小・中学生 100 [70]円\*  
主催／鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)  
住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 電話／0467-73-8501  
[www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html](http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html)

# 企画展 出土漆器の美

鎌倉では、中世の人々が日常的に使用した漆器類が数多く出土し、なかでも黒漆地に朱漆で文様を描いた漆絵の椀や皿は、国内でも突出した出土例を数えます。漆器製作に携わった塗師たちの道具も多く出土しており、これらの漆絵椀皿が当地で生産されていたことが類推できます。地下水位の高い鎌倉では、このような漆製品が朽ち果てることなく、今日に至るまで地面の下に保存されてきたのです。

赤と黒とで織り成される漆絵文様は、さまざまなバリエーションを示しつつも、いずれも和文様を志向し、そこに一定の共有概念があったことがうかがえます。一方でそれらの表現はきわめて個性的であり、近世の琳派を先取りするかのような突飛で機知に富んだ作も多く見られます。椀や皿の小さな円形内に繰り広げられるその独創的な世界観は、現代の我々をも惹き付けてやみません。

本展では、日常的供膳具として中世の広い階層で享受された漆絵椀皿を中心に、鎌倉で出土した漆器関係遺品や、漆器製作に使用された道具類、さらに伝世の鎌倉彫や彫漆などを一堂に展覧し、中世における漆器の生成享受の様態と、中世の人々の嗜好性について探っていきます。

§1 漆絵椀皿の世界



黒漆地に朱漆で文様を描いた椀や皿は、中世の人々が日常的に使用しました。赤と黒とで織り成される独創的な世界観をお楽しみください。

上:柏文漆絵椀(大倉幕府周辺遺跡群出土)  
下:三瓣文漆絵椀(若宮大路周辺遺跡群出土)

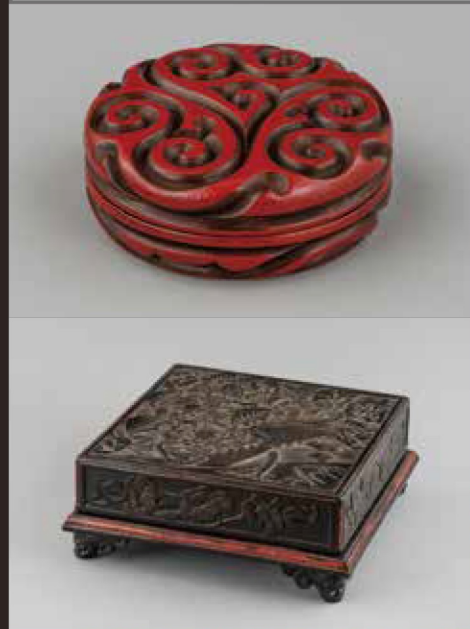
§2 漆器の生成享受



鎌倉で出土した漆器製作に関わる道具類や、寺院で使用された供膳具の復元模造などを通じて、中世における漆器の生産と消費のあり方を紹介します。

上:漆刷毛・漆碗(鎌倉市内遺跡出土)  
下:漆パレット(鎌倉市内遺跡出土)

§3 鎌倉彫と彫漆類



漆を厚く重ね塗りして文様を彫る彫漆は、高級な唐物として中国から日本にもたらされ、やがてそれを模した鎌倉彫が鎌倉の地に根付いていきました。

上:堆朱彫輪文香合(鎌倉国宝館)  
下:鎌倉彫獅子牡丹文硯台(鎌倉国宝館)

# 明治150周年記念 古写真展 激動の鎌倉

源頼朝が幕府を開き、日本で初めて本格的な武家政権が置かれた鎌倉は、中世を通じて武家による興亡が繰り返された土地です。また鶴岡八幡宮や建長寺、円覚寺などの各寺社は江戸時代に至るまで各政権に庇護され、武家の精神的な礎となり続けました。

幕末・維新の激動期、慶応4年(1868)3月5日には、関東征伐のため西郷隆盛や村田新八らが勅使先鋒として滞在し、同月28日には官軍先鋒総督の橋本実梁が部隊と共に布陣するなど、武家政権終焉の主要な舞台にもなりました。この時期に行われた寺社境内における廃仏毀釈や土地など、時代を画すこれらの大きな変革は、鎌倉で最初になされたといっても過言ではなく、まさに武家政権の発祥と終焉を象徴的に示す土地といえるでしょう。

明治150年の節目を記念して開催する本展では、幕末・維新时期から明治時代初期にかけての激動に揺らぐ鎌倉の姿を、当時撮影された貴重な古写真を通して跡付けていきます。後に保養地・別荘地として急速に変貌していく様子を辿りながら、武家の古都から近代都市として歩みを進める鎌倉の移り変わりについて、思いを馳せていただければ幸いです。



1.鎌倉大仏 鎌倉市中央図書館 2.鶴岡八幡宮 横浜美術館 3.稲村ヶ崎 4.海浜院 ©(一社)蟲喰鷹ノ羽 5.由比ヶ浜 鎌倉市中央図書館

## 禅と茶道と鎌倉彫展

会場:建長寺

開催期間

2018  
11.16(金)・17(土)・18(日)

鎌倉彫の仏具や茶道具など  
約100点を「禅」と「茶道」の  
視点から展示します。

主催

「禅と茶道と鎌倉彫展」実行委員会

## 「VR永福寺」の常設公開スタート!

鎌倉市と湘南工科大学との協働事業で開発された「VR永福寺」を常設公開します。

永福寺とは…

源頼朝が、奥州攻めで亡くなった人々の鎮魂のため建立した寺院。中世を通じて隆盛しましたが、室町時代に焼失し、後に廃寺になりました。鎌倉市による長年にわたる発掘調査によって、建物の規模や庭園の様子などが明らかになり、現在は史跡公園として一般公開しています。

設置場所:鎌倉歴史文化交流館 別館 交流室  
公開時期:平成30年9月15日(土)から  
制作者:湘南工科大学・長澤可也教授研究室



【VR永福寺イメージ】永福寺復元CG(湘南工科大学制作)

## 鎌倉歴史文化交流館

開館時間/午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで) 休館日/日曜・祝日

観覧料/一般 300 [210]円 小・中学生 100 [70]円\*

主催/鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)

住所/〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 電話/0467-73-8501

HP/www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

※[ ]内は20名以上団体料金  
\*本料金で上記両展および本館平常展示もご覧いただけます。  
\*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

アクセス/JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

\*一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。  
\*障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。



©Forward Stroke inc

